



休校が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。登校してよい日に、子供たちが楽しそうに学んでいる姿をみて安心しました。ご家庭で学習を進める中で、保護者の方がお子さんとどのように関わればよいか、不安に思っているというのを耳にします。今回は、ひらがなと算数の学習について少しお伝えしたいと思います。

ひらがなの学習について(今後のかたかなや漢字の学習でも同様です)

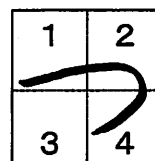
☆ まずは、ひらがなを読むことや書くことを、楽しみましょう。

ひらがなは、これからの生活や学習の基本となります。自信をもてるように励ましながら進めていきたいと思います。そして、ひらがなを組み合わせることで、様々な言葉を表現できるよさを感じながら、言葉の世界を広げていって欲しいです。

(例えば、「つ」を学習する時に、「つ」のつく言葉集めをして、見つけた言葉をプリント裏の空いているところに書き留めておくと、学びの足跡が残ります。)

☆ 書く時は、マスの中の4つの部屋を意識しましょう。

一年生にとって、形をしっかりと認識して思った通りに書くことはまだ難しい活動です。マスの中にある、4つの部屋を意識して書くと、形が整いやすくなります。(例えば、お手本の字を見ながら、「つ」は、1の部屋の下の方からスタートして、2の部屋を通り、4の部屋でゴール…など)



算数の学習について

今学習している「いくつといくつ」は、「5は2と3」や「7と3で10」など、数の構成を分解や合成で考えます。2つの数の関係を考えたり、一つの数を2つの数の和や差とみたりする見方は、たし算やひき算等、以降の学習の基礎となります。

☆ ブロックなど、操作しながら楽しく取り組もう。



この時期の児童は、手で操作したり、目で見たりするなどの活動をたくさん経験することが、学習への理解を深めることにつながります。6つのブロックを2つに分けて、その一方を隠して、見えているおはじきの数を基に、隠しているブロックの数をあてる等、ゲーム感覚でご家庭でも楽しんでみてください。「1と4で、ごまだんご(5)〜♪」などと、手遊びしながら唱えるのも楽しいです。このような活動を通して、数の見方が広がり、数の面白さを感じながら、豊かな数感覚が育ちます。